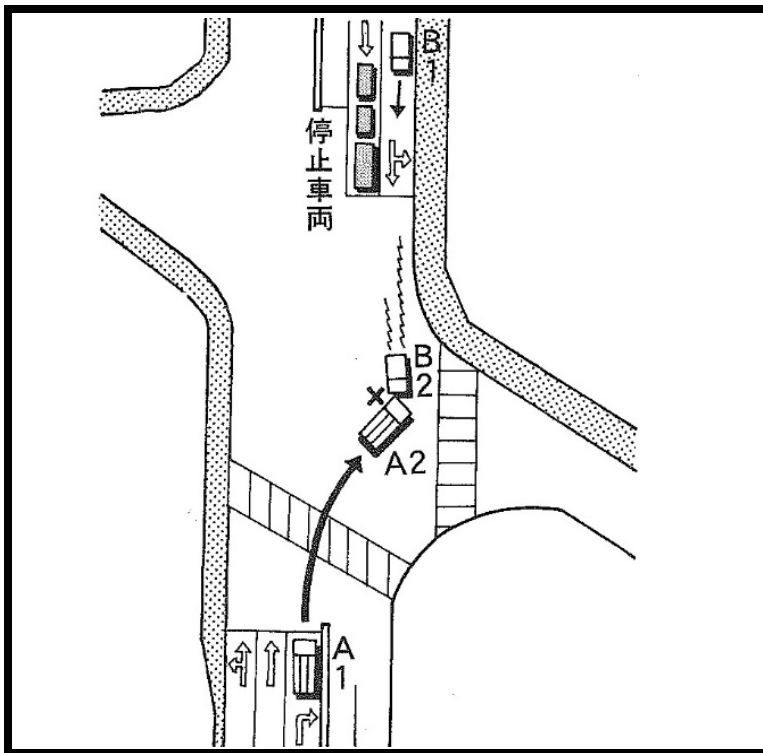


## ■事故の概況



事故類型：出会い頭  
発生日時：  
当事者A：政令大型貨物車  
40歳代 男性  
当事者B：軽トラック  
30歳代 男性

## ■ 事故の概要

Aは、比較的交通量の少ない片側2車線道路の交差点の右折専用車線で右折のため対向車の通過待ちをしていたところ、対向第2車線のダンプカーが停止して道を譲ってくれたので右折を開始しました。交差点内で、対向第1車線を直進してくるB車を発見し、危険を感じて停止しようとしたのですが間に合わず、自車左前面をB車右前面に衝突させました。

一方Bは、対向車線を時速約60kmで直進していました。交差点にダンプカーなど3台の車両が停止しているのを発見しましたが、信号は青なのでそのまま通過できると判断しました。等速のまま進行したところ、交差点直前で右折してくるA車を発見し急ブレーキをかけたのですが、間に合わず衝突してしまいました。

## ■ 事故から学ぶ

この事例は、いわゆる「サンキュー事故」と呼ばれるもので、停止してくれた車両の陰から出てきた他車に衝突してしまいます。道を譲ってくれる車両があると、相手に悪いという気持ちからつい急いでしまい、安全を十分確認しないまま進行しがちです。また、停止してくれた車両が障害になって見通しが悪くなり、停止した車両の陰から進行してくる他車の発見が遅れることもあります。このような場合には、あわてずに対向車線を確認できる位置までゆっくり進行し、自分の目で安全を確認してから発進すべきです。

道を譲った方も、そのために事故が発生したとあってはやりきれません。道を譲る場合、自車の後方や側方を進行してくる車両の状況と安全を確認することも必要です。